

◎円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(略称) 中国との円借款取極

平成 八年十二月二十四日 北京で  
平成 八年十二月二十四日 効力発生  
平成 九年 三月 四日 告示

(外務省告示第八一号)

目 次

ページ

日本側書簡	三二九
1 円借款の供与	三二九
2 借款契約の締結及び借款の条件	三二九
3 借款の対象	三三〇
4 生産物又は役務の調達	三三〇
5 借款、利子等の免税	三三〇
6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与	三三〇
7 生産物の海上輸送	三三〇
8 借款の適正使用等	三三〇
9 計画の進捗状況に関する情報の提供	三三一
10 協議	三三一
計画表	三三一
中国側書簡	三三三

○ 解釈正文に関する書簡 .....	三三八
日本側書簡 .....	三三八
中国側書簡 .....	三三九

## 日本側書簡

## 円借款の供与

## 借款契約の締結及び借款の条件

(円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者と中華人民共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光榮を有します。

1 (1) 千七百五億千百万円(一七〇、五二一、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの円貨による借款(以下「借款」という)が、この書簡に附属する計画表(以下「計画表」という)に掲げる事業計画及び計画を実施するため、計画表に定める各事業計画及び計画についての額に応じ、海外経済協力基金(以下「基金」という)により、日本国の関係法令に従って、中華人民共和国政府に供与されることになる。中華人民共和国对外贸易経済合作部(以下「对外贸易経済合作部」という)は、中華人民共和国政府により、中華人民共和国政府に代わって、借款を受け入れ及び基金との間で借款契約に署名する権限を与えられる。

(2) 借款は、千九百九十三年六月二十五日に日本国政府により公表された開発途上国への資金協力計画の2 (2)に沿って供与されることになる。

2 (1) 借款は、1 (1)にいう事業計画及び計画のそれぞれにつき对外贸易経済合作部と基金との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、なканずく次の原則を含むことになる前記の借款契約によって規制される。

(a) 償還期間は、十年の据置期間の後二十年とする。

(b) 利子率は、計画表の1から14に掲げる事業計画及び計画については、年二・三パーセントとし、計画表の15から22に掲げる環境案件については、年二・一パーセントとする。

(c) 支出期間は、計画表の16から18に掲げる事業計画については、関係借款契約の発効の日から七年とし、計画表の1から15及び19から22までに掲げる事業計画及び計画については、関係借款契約の発効の日から五年とする。

(2) (1)にいう借款契約の各々は、基金が当該借款契約に係る事業計画又は計画の実行可能性(環境に対する配慮を含む)を確認した後に締結される。

(3) (1)(c)にいう支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。

## 中国との円借款取極

## 中国との円借款取極

借款の対  
象

3 (1) 借款は、中国の実施機関が調達適格国の供給者、請負業者又はコンサルタントに対して行う支払で、

1 (1) 1) いう事業計画及び計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で既に締結されたか又は締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。

(2) 計画表の12に掲げる計画に係る借款並びに計画表の21及び22に掲げる事業計画に係る借款の一部は、これらの事業計画及び計画を実施するために中国輸出入銀行が借入人に対して行う融資に充てるために使用に供される。

(3) (1) 1) いう調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。

生産物又は  
役務の  
調達

4 中華人民共和国政府は、3 (1) 1) いう生産物又は役務が基金の調達のためのガイドライン（国際入札の手続が適用できないか又は適当でない場合を除くほか従うべき国際入札の手続をなканずく定める。）に従って調達されるよう必要な措置をとる。

5 中華人民共和国政府は、次のものを免除する。

借款、利  
子等の免  
税

(1) 基金について、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連して課される中国の財政課徴金又は租税

(2) 請負業者又はコンサルタントとして活動する日本国の会社について、1 (1) 1) いう事業計画及び計画の実施に必要な自己の建設機材の搬入及び搬出に関して課される中国の関税及び関連の財政課徴金

日本国民  
の入国及  
び滞在に  
対する便  
宜供与

6 借款に基づいて行われる生産物又は役務の供給に関連して中華人民共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のため中華人民共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。

生産物の  
海上輸送

7 借款に基づいて購入される生産物の海上輸送に関し、千九百七十四年十一月十三日に東京で署名された日本国と中華人民共和国との間の海運協定及び千九百七十六年八月二十五日付けの海運業務に関する協議のための民間団体の設立等に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文に従い、両政府は、同交換公文という両国の海運企業の団体の間の協議が円滑かつ適時に行われるよう奨励する。

8 中華人民共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。

借款の適  
正使用等

(1) 借款が適正にかつ専ら計画表に掲げる事業計画及び計画のために使用されること。

(2) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使

用されること。

9 中華人民共和国政府は、要請に応じ、日本国政府に対し、1(1)にいう事業計画及び計画の進捗状況につ  
いての情報を提供する。

10 両政府は、共同して借款の実施状況を随時検討し、借款の円滑かつ効果的な使用を確保するために必要  
な措置をとり、また、前記の了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互  
に協議する。

本使は、閣下が前記の了解を中華人民共和国政府に代わって確認されれば幸いであります。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十六年十二月二十四日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 佐藤嘉恭

中華人民共和国

外交部副部長 唐家璇閣下

中国との円借款取極

計画表

計画表

	(限 度 額)
1 北京首都空港整備事業計画 (Ⅲ)	八十四億五千九百万円
2 西安—安康鉄道建設事業計画 (Ⅱ)	二十五億二千六百万円
3 朔県—黄驊港鉄道建設事業計画 (Ⅱ)	自二十二億四千五百万円
4 貴陽—婁底鉄道建設事業計画	自二十九億三千二百万円
5 ウルムチ空港拡張事業計画	四十八億九千万円
6 蘭州中川空港拡張事業計画	六十三億三千八百万円
7 青島港前湾第二期建設事業計画	二十七億円
8 貴陽—新寨道路建設事業計画	百四十九億六千八百万円
9 広州—昆明—成都光ケーブル建設事業計画	五十三億四千九百万円
10 蘭州—西寧—ラサ光ケーブル建設事業計画	三十億四千六百万円
11 内陸部電話網拡充事業計画	百五十億三百万円
12 黒龍江省三江平原商品穀物基地開発計画	百四十九億千万円
13 黒龍江省三江平原龍頭橋ダム建設事業計画	三十億円
14 遼寧省白石ダム建設事業計画	八十億円
15 フフホト上水道整備事業計画	五十四億四千六百万円
16 北京第九浄水場三期建設事業計画	百四十六億八千万円
17 貴陽西郊浄水場建設事業計画	五十五億円
18 湛江市上水道整備事業計画	五十五億千九百万円
19 蘭州環境整備事業計画	七十七億円
20 瀋陽環境整備事業計画	五十億円
21 フフホト・包頭大気汚染対策事業計画	百億円
22 柳州酸性雨及び環境汚染対策総合整備事業計画	二十三億円
総 額	千七百五億千百万円

中国側書簡

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

(中方照会)

日本国駐中華人民共和国特命全权大使佐藤嘉恭先生閣下  
閣下：

我谨收到阁下今日的照会，内容如下：

“我谨确认，日本国政府代表和中华人民共和国政府代表，最近就有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款，达成如下谅解：

一、(一)根据日本国的有关法律和规章，海外经济协力基金（以下简称“基金”），将向中华人民共和国政府提供不超过一千七百零五亿一千一百万日元（¥170,511,000,000）数额的日元贷款（以下简称“贷款”），以便按照所附项目表（以下简称“项目表”）规定的每个项目的金额实施项目表开列的各个项目，中华人民共和国政府授权中华人民共和国对外贸易经济合作部（以下简称“对外贸易经济合作部”）代表中华人民共和国政府接受“贷款”，并与“基金”签订贷款协议。

(二)“贷款”将依照一九九三年六月二十五日日本国政府发表的“对发展中国国家资金合作计划”第二款第二项予以提供。

二、(一)“贷款”将根据“对外贸易经济合作部”和“基金”就第一款第(一)项提到的每个项目所签订的贷款协议予以提供。“贷款”的条件及其使用程序将受上述贷款协议的制

约。这些协议将特别包括以下原则：

1、偿还期为十（10）年宽限期之后的二十（20）年；

2、项目表中提到的第1至第14项目的年利率为百分之二点三（2.3%）。项目表中提到的第15至22项目（环境项目）的年利率为百分之二点一（2.1%）。

3、项目表中提到的第16至18项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起七（7）年，项目表中提到的第1至15和19至22项目的支付期为从有关贷款协议生效之日起五（5）年。

(二)上述第(一)项中提到的各项贷款协议，将在“基金”对同贷款协议有关的项目认为实际可行（包括对环境的考虑）后，予以缔结。

(三)上述第(一)项第3目中提到的支付期，经两国政府有关当局同意可予延长。

三、(一)“贷款”将为中国的执行机构根据他们同有资格来源国的供应厂商、承包商和（或）顾问为了实施第一款第(一)项提到的项目所需要购买产品和（或）服务而已经签订或可能签订的合同，向这些厂商、承包商和（或）顾问支付而提供，但此项购买是以在有资格来源国里为采购该国生产的产品，和（或）从这些国家提供服务者为限。

(二)项目表中提到的第12项目的贷款以及项目表中提到的第21和22项目的一部分贷款是将用于支付中国进



出口银行为实施这些项目提供给用款人的贷款。

(三) 上述第(一)项提到的有资格来源国的范围将由两国政府的有关当局达成协议。

四、中华人民共和国政府将采取必要措施，按照“基金”关于采购的指导原则购得上述第三款第(一)项提到的产品和(或)服务。这些原则特别规定了应予遵循的国际投标手续，但不能适用或不适合者除外。

五、中华人民共和国政府将免除：

(一) “基金”对关于“贷款”和由此产生的利息而由中国征收的财政税捐或税款；和

(二) 作为承包商或顾问的日本国公司，为实施第一款第(一)项提到的项目需要带入和带出他们自备的施工设备，而由中国征收的关税和有关的财政收费。

六、根据“贷款”有关供应产品和(或)提供服务而需在中华人民共和国工作的日本国国民，为执行其工作而进入和在中华人民共和国居留，将给予必要方便。

七、关于根据“贷款”购买的产品的海上运输问题，两国政府将按照一九七四年十一月十三日在东京签订的中华人民共和国和日本国海运协定，和一九七六年八月二十五日两国政府关于为协商海运服务而建立民间组织和其它有关事宜的换文，鼓励在该换文中提到的两国海运公司组织间进行顺利和适时的协商。

八、中华人民共和国政府将采取必要措施以确保：

(一)“贷款”の使用仅限于适当实施项目表中提到的各个项目。

(二)按照这项谅解所述的目的，适当而有效地维持和使用根据“贷款”建设的设施。

九、中华人民共和国政府将根据请求，向日本国政府提供在第一款第(一)项中提到的项目的有关进展情况的消息。

十、两国政府将随时共同检查“贷款”的实施进展情况，以及采取必要的措施，以确保“贷款”的顺利和有效的使用，并就上述谅解可能产生的任何问题或者有关事项另外进行相互磋商。

如蒙阁下代表中华人民共和国政府确认以上谅解，我将不胜感激。

我谨代表中华人民共和国政府确认阁下照会中提出的谅解。

顺致最崇高敬意。

中华人民共和国外交部副部长  
唐家璇

一九九六年十二月二十四日于北京

本官は、更に、閣下の書簡に述べられた了解を中華人民共和国政府に代わって確認する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十六年十二月二十四日に北京で

中華人民共和国  
外交部副部長 唐家璇

中華人民共和国駐在  
日本国特命全權大使 佐藤嘉恭閣下

项 目 表

(限 额)	
1、首都国际机场扩建Ⅲ	八十四亿五千九百万日元
2、西安—安康铁路(Ⅱ)	二十五亿二千六百万日元
3、朔黄铁路(Ⅱ)	一百二十二亿四千五百万日元
4、贵阳—娄底铁路	一百二十九亿三千二百百万日元
5、新疆乌鲁木齐机场扩建	四十八亿九千万日元
6、兰州中川机场扩建	六十三亿三千八百百万日元
7、青岛港前湾二期	二十七亿日元
8、贵阻—新寨公路	一百四十九亿六千八百百万日元
9、广州—北海—昆明—成都光缆干线	五十三亿四千九百万日元
10、兰州—西宁—拉萨光缆干线	三十亿四千六百万日元
11、青海、甘肃、新疆、宁夏、内蒙、 贵州电话	一百五十亿零三百万日元
12、黑龙江三江平原商品粮基地	一百四十九亿一千百万日元
13、黑龙江三江平原龙头桥水库	三十亿日元
14、辽宁白石水库	八十亿日元
15、呼和浩特供水工程	五十四亿四千六百万日元
16、北京水源九厂三期工程	一百四十六亿八千百万日元
17、贵阳市西郊水厂工程	五十五亿日元
18、广东湛江供水工程	五十五亿一千九百万日元
19、兰州市环境综合治理	七十七亿日元
20、沈阳大气污染治理	五十亿日元
21、内蒙古呼和浩特、包头市大气污染 治理	一百亿日元
22、柳州酸雨治理	二十三亿日元
总 额	一千七百零五亿一千一百百万日元

## 中国との円借款取極

(解釈正文に関する書簡)

(日本側書簡)

### 日本側書簡

書簡をもって啓上いたします。本使は、中華人民共和国の経済の安定に寄与し経済近代化努力を促進することを目的として供与される日本国の借款に関する本日付けの交換公文に關し、日本語、中国語及び英語により作成された同交換公文の解釈に相違がある場合には英語の本文によるものとすることを日本国政府に代わって提案する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十六年十二月二十四日に北京で

中華人民共和国駐在

日本国特命全權大使 佐藤嘉恭

中華人民共和国

外交部副部長 唐家璇閣下

中国側書簡

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本官は、更に、中華人民共和国政府に代わって、閣下の書簡に述べられた提案に同意する光栄を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十六年十二月二十四日に北京で

中華人民共和国  
外交部副部長 唐家璇

中華人民共和国駐在  
日本国特命全權大使 佐藤嘉恭閣下

中国との円借款取極

(中方照会)

日本国駐中華人民共和国特命全權大使佐藤嘉恭先生閣下  
閣下：

我謹收到閣下今日の来照，内容如下：

“我謹就今天有关旨在增进中华人民共和国经济稳定和促进经济现代化的努力而提供的日本国贷款的换文，代表日本国政府建议：上述用日文、中文和英文写成的换文，如果在解释上发生分歧，应以英文为准。”

我谨代表中华人民共和国政府同意阁下来照中提出的建议。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部副部长  
唐家璇

一九九六年十二月二十四日于北京

(Japanese Note)

Beijing, December 24, 1996

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the People's Republic of China concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China:

1. (1) A loan in Japanese yen up to the amount of one hundred and seventy billion five hundred and eleven million yen (¥170,511,000,000) (hereinafter referred to as "the Loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the People's Republic of China by the Overseas Economic Cooperation Fund (hereinafter referred to as "the Fund") to implement the projects and the program listed in the List attached hereto (hereinafter referred to as "the List"), according to the amount for each project and the program as specified in the List. The Ministry of Foreign Trade and Economic Cooperation of the People's Republic of China (hereinafter referred to as "the Ministry") is authorized by the Government of the People's Republic of China to accept the Loan and sign the loan agreements with the Fund on behalf of the Government of the People's Republic of China.

(2) The Loan will be extended in line with sub-paragraph (2) of paragraph 2 of the "Funds for Development" Initiative announced by the Government of Japan on June 25, 1993.

2. (1) The Loan will be made available by loan agreements to be concluded for each of the projects and the program mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 1 between the Ministry and the Fund. The terms and conditions of the Loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, inter alia, the following principles:

- (a) The repayment period will be twenty (20) years after the grace period of ten (10) years.
- (b) The rate of interest will be two point three per

cent (2.3%) per annum with regard to the projects and the program mentioned in 1 to 14 of the List and two point one per cent (2.1%) per annum with regard to the environmental projects mentioned in 15 to 22 of the List.

(c) The disbursement period will be seven (7) years with regard to the projects mentioned in 16 to 18 of the List, and five (5) years with regard to the projects and the program mentioned in 1 to 15 and 19 to 22 of the List from the dates of coming into force of the relevant loan agreements.

(2) Each of the loan agreements mentioned in sub-paragraph (1) above will be concluded after the Fund is satisfied of the feasibility, including environmental consideration, of the project or the program to which such loan agreement relates.

(3) The disbursement period mentioned in sub-paragraph (1) (c) above may be extended, with the consent of the authorities concerned of the two Governments.

3. (1) The Loan will be made available to cover payments to be made by Chinese executing agencies to suppliers, contractors and/or consultants of eligible source countries under such contracts as have been or may be entered into between them for purchases of products and/or services to be required for the implementation of the projects and the program mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 1, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

(2) The loan for the program mentioned in 12 of the List and a part of the loans for the projects mentioned in 21 and 22 of the List will be made available to cover credits to be extended by the Export-Import Bank of China to sub-borrowers for the implementation of the said projects and program.

(3) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

4. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures for products and/or services mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 3 to be procured in accordance with the guidelines for procurement of the Fund, which set forth, inter alia, the procedures of international tendering to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. The Government of the People's Republic of China will exempt:

(1) the fund from Chinese fiscal levies or taxes on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom; and

(2) Japanese companies operating as contractors and/or consultants from Chinese duties and related fiscal charges with respect to the bringing-in and bringing-out of their own construction equipment needed for the implementation of the projects and the program mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 1.

6. Japanese nationals whose services may be required in the People's Republic of China in connection with the supply of products and/or services to be provided under the loan will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the People's Republic of China and stay therein for the performance of their work.

7. With regard to the shipping of products purchased under the loan, the two Governments will, in accordance with the Agreement on Maritime Transport between Japan and the People's Republic of China signed at Tokyo on November 13, 1974 and the Exchange of Notes between the two Governments dated August 25, 1976, concerning the establishment of private organizations for the consultation on shipping service and other related matters, encourage smooth and timely consultations between the organizations of shipping companies of the two countries referred to in the said Exchange of Notes.

8. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that:

(1) the loan be used properly and exclusively for the projects and the program listed in the list; and

(2) the facilities constructed under the loan be maintained and used properly and effectively for the purposes prescribed in this understanding.

9. The Government of the People's Republic of China will, upon request, furnish the Government of Japan with information on the progress of the projects and the program mentioned in sub-paragraph (1) of paragraph 1.

10. The two Governments will jointly review from time to time the progress of the implementation of the loan

and take measures necessary to secure smooth and effective utilization of the loan and otherwise consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the foregoing understanding.

I should be grateful if Your Excellency would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the People's Republic of China.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Yoshiyasu Sato  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic  
of China

His Excellency  
Mr. Tang Jiaxuan  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic  
of China

中国への円借款取極

||||

List

	(Maximum Amount in Million Yen)
1. Beijing Capital Airport Terminal Area Expansion Project (II)	8,459
2. Xi'an-Ankang Railway Construction Project (II)	2,526
3. Shouxian-Huanghua Railway Construction Project (II)	12,245
4. Guiyang-Loudi Railway Construction Project	12,932
5. Urumqi International Airport Expansion Project	4,890
6. Lanzhou Zhongchuan Airport Expansion Project	6,338
7. Qingdao Port Second Phase Expansion Project	2,700
8. Guiyang-Xinzhai Highway Construction Project	14,968
9. Guangzhou-Kunming-Chengdu Optical Fiber Cable Construction Project	5,349
10. Lanzhou-Xining-Lhasa Optical Fiber Cable Construction Project	3,046
11. Interior Regions Telecommunication Network Expansion Project	15,003
12. Sanjiang Plain Agricultural Development Program	14,910
13. Sanjiang Plain Longtongqiao Reservoir Construction Project	3,000
14. Liaoning Baishi Reservoir Construction Project	8,000
15. Hohhot Water Supply Project	5,446
16. Beijing No. 9 Water Works Expansion Project	14,680
17. Guiyang Water Supply Project	5,500
18. Zhanjiang Water Supply Project	5,519
19. Lanzhou Environmental Improvement Project	7,700
20. Shenyang Environmental Improvement Project	5,000
21. Hohhot and Baotou Atmospheric Pollution Improvement Project	10,000
22. Liuzhou Environmental Improvement Project	2,300
<u>Total</u>	<u>170,511</u>

(Chinese Note)

Beijing, December 24, 1996

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the People's Republic of China the understanding set forth in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Tang Jiaxuan  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic  
of China

His Excellency  
Mr. Yoshiyasu Sato  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic  
of China



(Japanese Note)

Beijing, December 24, 1996

Excellency,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning a Japanese loan to be extended with a view to contributing to the economic stabilization and promoting the economic modernization efforts of the People's Republic of China, I have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that in case there is any divergence of interpretation of the said Exchange of Notes which is done in the Japanese, Chinese and English languages, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Yoshiyasu Sato  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic  
of China

His Excellency  
Mr. Tang Jiaxuan  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic  
of China

(Chinese Note)

Beijing, December 24, 1996

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to express agreement, on behalf of the Government of the People's Republic of China, to the proposal put forward in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Tang Jiaxuan  
Vice-Minister of Foreign Affairs  
of the People's Republic  
of China

His Excellency  
Mr. Yoshiyasu Sato  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to the People's Republic  
of China

(参考)

この取極は、海外経済協力基金が中国政府に対し、千七百五億千百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認したものである。